

## 修得目標 作業療法学科

学科の修得目標		全学の修得目標		4要素	
レベル1	レベル2				
A	幅広い教養をもとに豊かな人間性と倫理観を身につけ、医療、保健、福祉、教育、職業などの現場に対応し得る技術やコミュニケーションを実践できる	1	対象者及び取り巻く環境を理解し、説明する事が出来る		知識・理解
		2	国際化、情報化について理解し、説明することができる	多文化・異文化に関する知識をもって物事を判断することができる	知識・理解
		3	医療、保健、福祉、教育、職業について学修した知識を説明できる		態度・志向性
		4	人文科学、社会科学、自然科学の知識を説明できる	人文科学、社会科学、自然科学について幅広い関心と知識を有する	知識・理解
		5	基礎医学に関する知識を説明できる		知識・理解
		6	臨床医学に関する知識を説明できる		知識・理解
		7	作業療法の現場で患者の安全を図ることができる		汎用的技能
		8	他者を取り巻く個人的、社会的状況を踏まえてコミュニケーションを図ることができる	口頭・書面によるコミュニケーション・プレゼンテーションの能力を有する	汎用的技能
		9	デジタル技術を活用した作業療法について説明できる		知識・理解
B	身心の諸機能における作業療法に関し、評価から治療に至る一連のプロセスを正しく理解し、効果的で安全な基本的療法を実践できる	10	作業を中心とした評価についてクライアントの状況に合わせた評価の選択と意義について説明できる		知識・理解
		11	作業を中心とした実践プロセスについてクライアントの状況に合わせた使い方の意義も含め説明できる		知識・理解
		12	作業療法に関する各領域の評価法を総合的に理解し的確に実施ができる	問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析・整理することで解決できる	汎用的技能
		13	作業療法の実施状況に応じた治療計画の変更ができる	自律・自立して学修できる	態度・志向性
		14	作業療法の治療手段を症例の状況などに合わせて応用的に実践できる	獲得した資質・能力を総合的に活用し、自らが立てた課題にそれらを適用することで解決することができる	統合的な学習経験と創造的思考力
C	地域生活におけるライフステージに応じた文化や特性を正しく理解し、科学的根拠に基づいた効果的で安全な基本的療法を実践できる	15	ICFモデルを理解し、各構成要素を用いて情報収集及びその分析が総合的にできる	多様な情報を収集・分析して適正に判断し、効果的に活用できる	汎用的技能
		16	クライアントの主体性を保障した、生活行為の合意目標設定ができる		汎用的技能
		17	地域医療の成り立ちを理解し、関連施設の特徴や地域のニーズに応じたアプローチを実践できる	協働作業によって新たなものを構築することができる	態度・志向性

